

昨日の夜、月を見ましたか？満月でしたよ。今月の満月はフラワームーンと言うそうです。またしっかりとお願いしておきました。

“早くこの状況が収束し、世界中が平和になりますように”と。

毎日総合医療センターバス停から学校まで、林の中の小径を歩いています。林に入るとき必ず空を見上げて、木々も見てパワーをもらってから小径を歩き始めます。ここは本当に背の高い木が多いですね。どのくらいの年経ってるのかな。

昨日朝、風が吹いていました。ふと正面の高い木を見ると、上の方の枝が右に左に風が吹くままに気持ちよさそうに揺れていました。その木の下の方を見ると全く動きません。どっしりとしたものです。このくらいの風なんてどうってことないという感じです。今どっしりしている部分も最初からそうだったわけではないのです。低く細い木からだんだん高く太くなってきたのです。途中嵐もあつたでしょうし、大雪もあつたでしょう、雨がずっと降らなかったこともあつたでしょう。でもそれにも耐えてここまで高く太い木に成長したのです。このように成長するのに欠かせないもの、それは「木の根」です。この根っこがなければ木は成長しません。木の太さに合わせて根っこもしっかりと地中に張っていきます。地中から栄養分を取り入れ幹に送ります。この根っこがダメになると木は枯れてしまいます。私たちはその根っこを見ることはありません。木のために一生懸命栄養を取っています。根がしっかりしていれば木はどんどん成長していきます。木を支えているのです。

人間も同じ。自分をしっかり持っていればどんなことがあろうともしっかりと生きていけます。自分の根っこになるもの。それを中学校で見つけてほしい。身に付けてほしい。そう思います。今学校でそれができません。自宅で自分の根っこを育ててください。決して腐らせたならダメだよ。根っこを育てるには「本を読むこと」。これをお勧めします。時間がたっぷりある今だからできることだと思います。どんな本でもいい、読んでみてくださいね。先生方もおすすめの本を紹介します。

七中生へのメッセージ（5月8日）

七中生の皆さん、お元気ですか？早く皆さんの顔を見て、普通に授業ができる日が来てほしいですが、もうしばらく辛抱です。いつになるかはわかりませんが、必ず元の日常が戻る日がきます。それまで頑張りましょう。

さて、緊急事態宣言の延長が決まり、どうしても後ろ向きな気持ちになってしまいがちですよね。しかしこんな時だからこそ、多少無理をしても前向きにいたいと先生は思っています。言霊ということばもあるように、マイナス発言を繰り返していると、何となく幸せが逃げていってしまうような気がするんです。ですから、「〇〇ができない」「△△が嫌だ…」ではなく、「〇〇ができるようになったら□□するぞ」といったポジティブな考え方をしたり、発想を変えてこの状況の中でもポジティブな要素を探したりするようにしています。

先生の家では、娘がとってきたオタマジャクシを育てました。といっても、もうみんなカエルになってしまったので、ちょうど昨日、川に返してきたんですが…。ところでみなさんは、オタマジャクシからカエルになるとき、前と後ろ、どちらの足から生えてくるかわかりますか？実は先生も、昔学んで知識としては知っていたはずだったものの、正直記憶が曖昧でどちらだったか自信がなかったんです。でも、実際に自分の目で見た（体験した）ことで、その知識は確かなものになりました。やはり自ら体験して覚えた知識は定着するのを感じました。こんな時だからこそ、普段できない体験をしてみてください。今まで見えなかったことが見えてくるかもしれませんよ？

3年 宮下 直毅